



かわしま 嘉一 議員(政友みらい)

天明鋳物について



Q 天明鋳物を国指定重要文化財とすることについてどのような計画で臨んでいく考えか伺いたい。

A 教育長

国指定化については、国の文化審議会に提出する調査資料の作成が重要であり、その技術や手法について文化庁の民俗文化財担当調査官からの指導を継続的に受けていきたいと考えています。市内に残された生産用具についても、記録化への協力を求めていく一方、その対象範囲の考え方を整理し、早期に文化審議会への提出に足る資料を用意できればと考えています。

令和5年度の国指定化実現に向け、文化庁調査官や栃木県との綿密なやり取りを行い、天明鋳物の伝統的な技術を用いた道具類の保存・伝承の好機と捉え、積極的に取り組んでいきます。

その他の質問

☆佐野市の文化財について
☆小1プロブレムについて



なかはま 長浜 成仁 議員(政友みらい)

第2期佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について



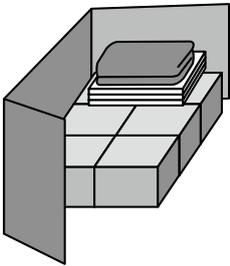
Q 中山間地域、都市的地域等を問わず、避難体制等の整備はさらに力を入れていかなければならないと考えるが、本市の取組と今後の展開について伺いたい。

A 行政経営部長

避難体制の整備として、昨年度から市指定避難所58か所のうち、城北地区、赤見地区、田沼地区、葛生地区の各公民館4か所を体調不良者専用避難所として指定し、避難情報が発令された際に、頭痛や腹痛、基礎疾患をお持ちの方などがちゅうちよなく避難できるよう整備を進めました。また、全ての市指定避難所に感染症対策やプライバシー確保などの観点から、非接触型体温計や段ボールベッド、ワンタッチパーティションなどを準備しました。今後も市民の皆様が安心して避難できるように努めていきたいと考えています。

その他の質問

☆まちなかの活性化について



あいの 慶野 常夫 議員(政友みらい)

佐野市地域公共交通再編実施計画について



Q 現在は吾妻エリア全域をフルーツ吾妻線が運行し、地域住民が定期的な通院や買物などに日々利用している。この方々が不便にならないように運行区域を拡大していただきたいが、デマンド交通吾妻エリアの運行区域の拡大をどのように考えるか伺いたい。

A 市長

植野地区南部で実施したアンケートによると、買物や通院の利用割合の高い目的地は、吾妻エリアで既に目的地として設定している商業施設や病院となっていることから、両地域の生活圏がおおむね重複するものと考えられます。こうしたことから、吾妻エリアの運行区域に植野地区南部の5町会を加え、一体的に運行を行っていきます。今後も、引き続き本市における公共交通空白地域の解消を進め、市民の皆様の移動手段を確保するとともに、利便性の向上に努めていきます。

その他の質問

☆投票所における新型コロナウイルス感染症の対応について
☆投票率の向上に向けた取り組みについて

